

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ポピンズナーサリースクール三軒茶屋
施設所在地	東京都世田谷区野沢1-35-8世田谷ティーズビルA施設棟2F
法人名	株式会社ポピンズエデュケア

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

- ①テーマの設定に活かした園の環境や強み
- ・栄養士が駐在し調理室で昼食やおやつを毎日調理するため、調理をしている音や食器がカチャカチャ鳴る音が日常的にあふれている
- ②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由
- ・日頃から、正解のない自由な表現活動（造形や身体表現）を大切にしており、目に見えない『音』を自分なりに解釈して形にする活動がお子様たちの創造力に合致しているため

2. 活動スケジュール

- 10月：①お部屋の音を探してみよう！②練り切りを作ってみよう！
- 11月：11月ミカン（世田谷区の農園にミカン狩りに行きそのミカンを使用してジャム作り）
- 12月：紫キャベツはどうして紫なの？食品の色素と性質を調べる
- 1月：七草に触れてみる。食べてみる。
- 2月：2月バイキング給食

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

身近な生活音に興味があったので、調理室やウッドデッキ、お外から聞こえてくる音に耳を傾けられるよう、活動のお部屋を分けたり調理室から食器や調理道を持ち出し、お子様と一緒にどんな音が出るか調べてみた。

音探し活動を通じて調理に興味に向いたので、みんなで食品について調べたり実験したり体験したりするための材料、道具をそろえ、講師の先生の説明がわかりやすいようにスクリーン・プロジェクターをセッティングした

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

音をテーマにスタートしたが、最初の活動で調理器具の音に盛り上がり、その流れで食に興味を持ったため、あまり音が鳴る器具を使わず、作る過程で粘土のような独特な音を出す【練り切り体験】を実施し、材料が何からできているのか、どうして調理音が独特なのか、かたちが自分で作れることなどを知り、自分で作った練りきりを喫食した。練り切りはいろんな色があるのはどうして？というお子様からの問いが出たので、食品の色について調べてみることにし、紫キャベツのエキスを抽出して酸性・中性・アルカリ性なども調べたりした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ボウルと箸がぶつかる音など、普段調理室から聞こえていた音はこの音だったんだ！普段食育活動などで調理器具を使う時に調理器具から聞こえる音、家でも聞いたことのある音、使っているものによってはそんな音が出るの？という驚きに興味を持ち、発見・理解をした。音がテーマでしたが調理音をきっかけにお子様の興味はどんどん食に向いていき、次の「練り切り体験」では、あんこは知っていたけど練り切りという言葉は初めて聞いた！いろんなかたちができるの楽しい！どうして色が付けられるの？といった会話がはずみ、グループごとのお友達同士で自分の作品を見せ合ったりしていた。保育者はお子様の発言を大切に、すぐに答えを言わずにお子様はどうしてだと思おう？と問いかけたりお友達同士でかんがえてみるように促した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・練りきりなどは普段なかなか見ることもなく体験できないものだったが自分なりにやってみることを楽しむ、やったことについての周りからの肯定的な言葉がけにより自信をもって行う姿があった。ミカン狩りしたものを使ってのジャムズ作りなども自分たちで摘んできたものを使ってジャムを作って食すことで大人が食べてみても少し酸っぱい味をしていたが、笑顔になりながら「おいしい」といって食べていた。実際に自分で作ることで、ただ出されて食べるのとは違う気持ちの面での味が変わってくるの印象があった。